

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域療育センターあおば通園

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 107名

回収数 89

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	69 77.5%	18 20.2%	2 2.2%	なし	<p>①プレイルームとスヌーズレンは他のクラスと重なると人が多くなり危ないことがあります</p> <p>①走り回るのでプレイルームがもう少し広いといいなと思います</p> <p>①活動のお部屋に何組も同じになる時があり、走り回ってる子が沢山いる時見て危ない時があり、スペースが十分でないと感じる時があります</p> <p>①親子日の時のみ、教室でのおもちゃスペースで親子全員入って遊ぶスペースとしては狭いと感じる</p> <p>①クラスのおもちゃで遊ぶスペースが少し狭い。プレイルームは複数のクラスが重なるとぶつかりそうになったり危ないと思う時もある</p> <p>①雨の日や夏の炎天下の日は園庭に出られず、プレイルームやスヌーズレンが混雑してしまうのは仕方がないと思うが、子供同士がぶつかりそうではしゃぐ時があるので一度に利用する人数を調整した方が良くと思う</p> <p>①プレイルームの使用が他クラス合同になるのでぶつかるなど危ないと感じる時があります</p> <p>①プレイルームがぎゅうぎゅうになっていて、少しだけ、危ないかなと感じたことがあります</p> <p>①園庭やプレイルーム等、もっと広々とした空間だと、より良い環境なのかな？とも思いますが、それは望み過ぎなのかも？</p> <p>①自由遊びのスペースが狭く感じました（特に親子日）</p> <p>①プレイルームが混みすぎたら別の場所に移動するなど、お互いのスペースが保てていると思います</p> <p>①楽しく活動していますが、クラスが重なるとプレイルーム等で勢よく衝突することがあるように思います</p> <p>①教室では十分に確保されていると思うが、プレイルームや特にスヌーズレンでは二クラス以上になると混雑してあまり身動きがとれなくなりぶつかりやすいので危なく感じる</p> <p>①お部屋のおもちゃコーナーが少し狭いと感じるときがある</p> <p>①プレイルームは3クラス+保護者も2クラス分いて、その中で子どもが走り回り、危ないと感じることがあった</p> <p>①スヌーズレンではクラスが多く、子供がぶつかる事を親子日にみただけで頻繁にあるのかも心配になる</p> <p>①プレイルーム等、他のクラスと同じタイミングだと走り回ったりしたりすると衝突の恐れを感じる</p> <p>①プレイルームや園庭は十分にスペースが確保されていると思いますが、療育室はおもちゃで遊ぶスペースが少し狭いように感じます</p> <p>②利用者が増えているかとは思いますが、他クラスのお友達と一緒にプレイルームやスヌーズレンでは、なかなか上手く遊べない時があると感るのでスイングホースを増やせたらいいのかなと思います(大きく揺らしたい子、のんびり乗りたい子とかで分けてあげてほしいなど)</p> <p>③肢体不自由のある子どもも、プレイルームや外遊びの機会を増やして欲しい</p> <p>④沢山走れる。遊べる</p> <p>④体をたくさん使って動き回ることができると思います</p> <p>④広くて快適</p> <p>・大変</p>	<p>① プレイルームやスヌーズレン、おもちゃコーナーなどの共有スペースにつきましては、一度に使用するクラス数を制限し、重ならないよう配慮しております。また、月ごとに見直しや再調整を行い、安全かつ快適にご利用いただけるよう努めております。しかしながら、年度初めの調整が十分に行き届かない時期や、クラスの流れが通常と異なる場合には、混雑や煩雑さが生じることもございます。その際には、その場にいる職員同士が連携をとり、流れの変更や過ごし場所を変更するなどして、お子さんが安全に遊べる環境を確保しています。また、雨天時や気温の高い日など、園庭が使用できない状況では、共有スペースの混雑が避けられないこともございます。そのため、使用時間や人数の調整に加え、各クラスのお部屋でも楽しく過ごせる工夫を引き続き検討し、安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります</p> <p>② プレイルームやスヌーズレン、おもちゃコーナーなど使用人数だけでなく、設置する遊具の検討をすとも、お子さんそれぞれが楽しめる使用方法を検討してまいります</p> <p>③ ご意見ありがとうございます。 引き続き、体を動かし、のびのびと過ごす時間を保証できるように使用場所の割り振りや活動内容の工夫に努めてまいります</p> <p>④ お子さんがプレイルームやスヌーズレン、園庭などの様々な環境で、のびのびと楽しく過ごしている様子を感じていただけていることを嬉しく思います。今後も、安全面にも十分配慮しながら、お子さんが安心して過ごせる環境の整備や工夫を続けてまいります</p>

環境・体制整備	2	職員の配置数は適切であると思えますか。	74 83.1%	9 10.1%	5 5.6%	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とくに困ったことはないので</li> <li>・先生の質も良いから満足</li> <li>・皆さん、非常に頑張られていると思います</li> <li>・ちゃんとみて頂けてありがたいです</li> </ul> <p>①希望として、先生が3人配置していただくと1人に対する関わりが手厚くなると思う</p> <p>①少し人数が少ない時がある気がします</p> <p>①医療的ケア児が多く登園する日には看護師さんの人数がもう少し多いと安心だなと感じることがあります</p> <p>①突発的な行動をする子がいるクラスにはもっと人員を割くべきだと思う</p> <p>①常に人員が不足しているように感じる</p> <p>①常にはないが、状況によっては人手が足りなさそうな時があるように感じる</p> <p>①たまにもう1人いたほうがいいなと思う時がある</p> <p>①何となく少ない気がする。今まで通った他の施設が先生1人につき子供2人だったので</p> <p>②看護師さんの人数をバスにも添乗出来るように確保出来れば、医療的ケアのあるお子さんもより通いやすくなると思います</p> <p>②バスの職員配置は、1名だと心配。1名の時と2名の時と日によって違うようだが、常に2名配置の方が安心</p> <p>②バスの添乗員が1人の時は少し大丈夫かな？と心配になります。例えば乗り降りの際に立ち歩いている子がいる時など、1人だと乗り降りする子と歩いている子の両方を対応するのは大変だろうなと感じるとともに、走行中に特定の子につきっきりになっていると、他の子たちに目が行き届かない事もあるのかもしれないと感じます</p>	<p>①人員が少なく感じられる場面がある、より手厚い支援を期待したい等、のお声をいただきました。通園では、指定基準に基づいた人員配置に加え、1日平均3名の非常勤職員を雇用しています。また、地域のボランティアの方々にもご協力をいただきながら療育を行っています</p> <p>一人ひとりの特性や当日の状況、活動内容に応じて、可能な範囲で柔軟な職員配置を心がけておりますが、状況によっては保護者の皆さまに人手が足りないと感じさせてしまう場面があり、申し訳ありません。今後も、活動内容や子どもの状況に応じた職員配置の工夫、必要に応じた職員体制の見直し、職員間の役割分担や連携強化による支援の質の向上を行い、お子さんたちが安全に過ごせる環境づくりと、安心して通園をご利用いただける支援体制の構築に努めてまいります</p> <p>②バス添乗時の職員配置や安全面について、貴重なご意見をいただきありがとうございます</p> <p>医療的ケアを必要とするお子さんを含め、安心して通園したいという保護者の皆さまのお気持ちを真摯に受け止め、安全な運行となるよう添乗職員数など検討してまいります。しかしながら、看護師の添乗についてはあおぼとしての検討となります。可否も含めお時間をいただけたらと存じます。</p> <p>通園バスは、単独のお子さんの人数が15名以上の場合は添乗員2名体制とするという基準を設けお子さんや行動特性、乗降時の安全性、バス車内の様子などを踏まえ、危険性が高いと判断される場合には添乗員を増員するなど、柔軟な対応を行っております。今後も、バス添乗時の安全確認ポイントや判断基準の整理を進め、職員間での共通理解を図りながら、安心・安全な運行が行える体制の構築に努めてまいります</p>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思えますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思えますか。	88 98.9%	1 1.1%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもわかりやすいです</li> <li>・一日の中で、活動に合わせて配置変えをしてくださっているおかげで、導線がスムーズになり、子どもたちが行動に移しやすい工夫がされていると思います</li> <li>・より良く考えられていると思います</li> <li>・ちゃんとわかっていると思います</li> </ul>	<p>空間の使い方や区切りが、お子さんにとって分かりやすい環境づくりに役立っているというご意見を大切に、今後もよりお子さんに合った環境づくりに努めてまいります</p>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思えますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思えますか。	82 92.1%	7 7.9%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも綺麗で、掃除されていてありがたい</li> <li>・十分です</li> <li>・いつも綺麗なタオルが準備されていたり、消毒や掃除用具などがすぐに出せるようになってきていると思うので衛生的だと感じます。給食前に部屋の換気などもして下さっていて、窓を開けておくことができない分ありがたいなと思いました</li> </ul> <p>①体調を崩しやすいものもいることは重々承知ですが、夏場・冬場ともに少し暑く感じます。着るもので調整していますが、汗だくなっている子も多いので逆に風邪をひくのでは、と思うこともあります</p> <p>①室内が暑く感じる時があります。昼食時間に家族室へ移動すると寒くて温度の寒暖差に驚く時があります</p> <p>②掃除や整理整頓など、大変かな？と思います</p> <p>②室内の設備がゴムテープで補強されている箇所が多く、見た目だけでなく安全面としても少し心配に感じました</p> <p>③蚊などの虫に関しては仕方ない部分もありますが、肌の弱さなどもあって蚊でも蜂窩織炎に陥る事があるため、その時期には部屋の中の虫の対策もお願いしたいです</p> <p>④トイレに裸足で入ることが衛生上気になります</p>	<p>①室内の温度環境について、貴重なご意見をありがとうございます。通園では、季節や天候、活動内容に応じて空調管理を行い、お子さん一人ひとりの体調や様子を確認しながら、室温や換気の調整を行っております。運動後など体温や室温が上がりにくい場面もあるため、今後も活動後の室温確認や換気、衣服調整を丁寧に行い、安心して過ごせる環境の維持に努めてまいります</p> <p>②通園では、遊びスペースと活動スペースを分ける目的や落ち着いて過ごせる個別スペースの確保を目的として、トライウォールを使用した環境設定を行っております。これらを床面に固定しておりますが、固定方法やその見た目により安全面へのご不安を感じさせてしまい申し訳ありません。設置状況の定期的な確認を行うと共に、より安全性や見た目にも配慮した設置方法について検討を進めて、引き続き子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります</p> <p>③季節に応じて蚊のいなくなるスプレー等の虫よけ用品を準備し、必要に応じて使用できる体制を整えております。登園時や園庭からの入室時は虫の侵入が予測されるため、室内環境を確認し、今後もお子さんたちが安心して過ごせるよう、状況に応じた虫よけ対策を継続してまいります</p> <p>④通園では、トイレスリッパの使用が難しいお子さんに配慮し、安全面や混乱を避けるため、裸足でのトイレ利用を基本としております。そのため、トイレ内は定期的な清掃および消毒を行い、衛生管理に努めております。今後も、お子さん一人ひとりの特性に配慮しながら、安心して利用できる環境の維持に努めてまいります</p>

適切な支援の提供	<p>5</p> <p>子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。</p>	78 87.6%	9 10.1%	1 1.1%	1 1.1%	<p>・我が子も含めひとりひとりのお子さんに応じた関わりをしていると日々感じ、感謝しています</p> <p>・見守るところは見守り介助するところは介助する、よくみてもらえていると思います</p> <p>・息子はこだわりが強く、何かと大変かと思いますが、よりきめ細かく対応して頂けている、と感じます</p> <p>・沢山支援頂きありがとうございます</p> <p>①時々人手不足を感じる</p> <p>②通園に通い始めてから一度も医師の診察がないため</p> <p>③医師に相談したところ「この子には何をやっても無駄だ」と言われた</p> <p>④もう少し専門家が介入した方が良いのではないかと感じる。グループに対する支援はしているように思うが、個人を掘り下げるのは難しそうに感じる</p> <p>⑤基本的に担任さんからの意見で、専門ではあるが、園でチームになり対策をたててフォローしてほしかった。それがあおばでは出来たと感じたが、悩みに対して回答は踏み込んだ内容は得られなかった</p> <p>⑥可能であれば心理士さんだけでなく、言語聴覚士さんなどの専門職の方がクラスに入って親子日などでフィードバックを頂きたいです</p> <p>⑦PTやOTを受けたほうがいいのか、受けられるのかなど分かりにくいように思います</p> <p>⑧動的プログラムが終わった後、お友達ややっている時間にじっとしていられないことがあるので、次の場所への移動は理解できるのですが、親子日はお友達の出来たことを喜んで応援したり成長が見られる時間でもあるので、すぐに移動じゃなくてもいいかなとも思いました</p> <p>・特にないです。</p>	<p>①ご不安な思いをさせてしまい、申し訳ありません。通園職員は担任の他に非常勤職員の雇用やボランティアを募り、安全把握に努めております。必要な状況、場面に人を配置し、お子さんの安心安全な過ごしになるよう引き続き努めてまいります。改善に努めてまいりますのでぜひ不安に感じる場面を具体的に教えていただけたらと思います</p> <p>②通園に入園した際、個別の訓練などの外來のご利用がない方は定期的な診察もない状態になりますが、医師への相談、個別訓練の相談など、ご希望があれば診察予約が可能です。診察をご希望の際には流れをご説明しますので担任までお声かけください</p> <p>③お子さんにも、保護者の方にも不快感をさせてしまい申し訳ありません。全てのお子さんがそれぞれのペースで成長や変化があると信じて日々の支援に努めております。今回の件をおおば内で共有し、信頼回復に努めてまいります</p> <p>④～⑥ 普段の療育の中で十分な支援ができず、申し訳ありません。あおばには他職種があり、チームで支援を考え、保護者の方の相談にのっていただけることが強みと考えております。直接的な支援はできなくても、ご相談の内容やお子さんの様子によって専門知識のある職種に担任が相談し、クラスの運営や</p> <p>⑦個別訓練に関しては、一度診察に入っていたとき、医師にご心配されていることをご相談いただき、訓練が必要との結論に至るとそれぞれの専門職による訓練が開始されます。まずは保護者の方のご心配ごとを担任にお伝えいただけたいと思います。その後の流れも丁寧に説明させていただきます</p> <p>⑧ご指摘の通り、個人の課題達成だけが目標でなく、集団の中で知れること、学びとなることもあわせて考えています。個々人の活動の目的がどこにあるのか、クラスの目標がどのあたりを目指しているのかを丁寧に説明できるように努めてまいります</p>
	<p>6</p> <p>事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているとしますか。</p>	85 95.5%	3 3.4%	なし	1 1.1%	<p>・そう思います。</p> <p>①合っているところもあるが、人手が足りず支援されていないように見えるところもある</p>	<p>①通園では公表している支援プログラムに基づき、お子さん一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行っております。一方で、人員配置や当日の状況により、支援の一部が十分に行き届いていないように感じさせてしまい申し訳ありません。職員間の役割分担の見直しや活動方法等の工夫を行い、支援の質を維持・向上させながら、プログラムに沿った支援の提供に取り組んでまいります</p>
	<p>7</p> <p>子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。</p>	81 91.0%	5 5.6%	なし	3 3.4%	<p>・困ったことや悩みがあると、すぐに対応してくださり、親も子供も安心して通うことが出来ています。子供のいいところを見つけてくれたり、明るく声をかけてくださる先生たちに感謝しています</p> <p>・満足です</p> <p>・担任の先生が、よく見て適切なアドバイスをしてもらえると感じます</p> <p>・そう思います</p> <p>①子供のことは考えているが、保護者のニーズは無視されていると感じる</p> <p>②民間療育の併用に関して、もっと柔軟な対応をしてほしい。(日数や振替など)</p>	<p>多くの方々から「子どものことを理解し、適切な支援計画が立てられている」というご評価をいただき、大変ありがたと思います。今度も支援計画の質を高めていけるようにしていきます</p> <p>①ご意見をありがとうございます お子さんだけでなく保護者の方への支援も大切な支援と考えております。お子さんと保護者の方、双方のお気持ちやお考えを尊重して支援の検討や提案をし続けるように努めてまいります</p> <p>②契約に基づいた利用日数や登園曜日で行っているためご不便さを感じさせてしまうこともあるかと思えます。お子さんにとってよりよい経験となる場として利用頻度、利用曜日を固定して行っております。ご家庭にとって必要な支援を計画相談とも連携をとりながら、ご家庭のご相談に応じてまいります</p>
	<p>8</p> <p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。</p>	81 91.0%	3 3.4%	なし	5 5.6%	<p>・満足です</p> <p>・そう思います</p> <p>①親子日になかなか先生と話すことができない</p>	<p>引き続き児童発達支援ガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえ、子ども一人ひとりに必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を計画・実施してまいります</p> <p>①親子登園時は、クラス運営やお子さんへの対応、ご家族支援が重なるため、状況によってはゆっくりとお話する時間を十分に確保できない場合がありますが、担任から必ず一度は保護者の方にお声がけできるよう心がけております。一方で、親子登園の際に担任と十分に話せないと感じられる場面があるというご意見は真摯に受け止めてまいります。保護者の方が相談や共有したいことがある場合には、定期的な面談に限らず、電話や任意の面談等によるご相談を随時受け付けております。今後も、保護者の皆さまと情報共有を図りながら、支援内容がより適切に反映されるよう努めてまいります</p>

9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	85 95.5%	1 1.1%	なし	3 3.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に対応して頂いています</li> <li>・そう思います</li> </ul> <p>①人手が少なく、安全確認のみで放置されている時間も多々ある</p>	<p>引き続き、一人ひとりに合わせた支援計画をご本人、ご家族、関係者で相談、検討しながら作成し、計画に沿ったサービスが提供できるように取り組んでまいります</p> <p>④ご意見ありがとうございます。どの場面も目標を立てて過ごす時間と考えておりますが、放置されているように感じさせてしまい申し訳ありません。場面ごとの目標や課題について丁寧な説明を心掛けてまいります。また、それぞれの時間がお子さんにとっていい過ごしとなるように努めてまいります。</p>
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	82 92.1%	3 3.4%	1 1.1%	3 3.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回違う課題を提示してくださり、飽きずに参加できている</li> <li>・大丈夫だと思います</li> <li>・季節にあった活動であったり、同じ内容の活動でもその日の登園する子どもに合う活動の仕方に対応しており、細部まで工夫して頂けていると思います</li> <li>・色々な遊びを通じて学んでいると思います</li> <li>・色々な活動を入れてくださり、楽しいのはもちろん課題に気づけたりもします</li> <li>・そう思います</li> </ul> <p>①多少似た活動だったり、繰り返しの活動があったりする。</p> <p>①教材（机上課題、運動課題）以外はほとんど固定されているように感じる（数個のバリエーションを繰り返す）。お楽しみのような活動も少なく、ルーティンのみで、むしろ固定化しないように工夫する気があったのかと、この質問を見て驚いた</p> <p>①同じ課題レベルが続くと子供自身が退屈と感じるようとおもちゃコーナーの時間が1日に3回以上あることがほぼ毎回なので、退屈に感じる</p> <p>②少し想像にはなってしまうのですが、週2、3の方は幼稚園か保育園に行かれてると思うので園庭もしくは公園などの時間があると思うのですが、週5の子はおおばにしか通っておらず週末も混んでいたり、多動で連れて行くのが難しかったりと思うので日に当たりながら体を動かす時間がないかなと感じるので週に何回かは園庭に出してあげてほしいなと思います</p>	<p>①活動の工夫について好評をいただけている一方で、繰り返しや固定化についてご意見をいただきました。繰り返し取り組むことでお子さんたちが見通しを持って能動的に行動できる部分を増やしていく目的のもとに設定している活動があります。繰り返しによるお子さんの変化や成長を狙っていることでもあります。何をねらって活動しているのかを明確にした説明の中でお子さんのご様子を共有することを心掛けてまいります</p> <p>②園庭での活動機会について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。私たちもお子さんたちがのびのびと身体を動かし、季節を感じる機会は、心身の発達においても重要であると認識しております。安全な見守り体制を優先するなかで、園庭で遊ぶ日数が限られていた面がございました。ご指摘を真摯に受け止め、活動スケジュールの再考や職員配置の工夫を行い、安全に園庭で遊ぶ機会を増やしていけるよう取り組んでまいります</p>
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	37 41.6%	13 14.6%	27 30.3%	12 13.5%	<p>①数が少ない気がします。</p> <p>①そういうイベントはあまりないのでちょっとあるというと思う</p> <p>・療育おおばの長期お休み期間だけ、民間の支援事業を利用しています</p> <p>①おおばにしか通っていないので他との関わりはほとんどないです</p> <p>①今まで会った事がないです</p> <p>①②他の施設との交流は皆無。こちらから、幼稚園に訪問に行っても頼りたてて断られてしまう</p> <p>②幼稚園発信なのが難しいところで、お互いのことは認知して頂いているものの、見学等に繋がりにくいことをもどかし感じています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ見知らぬ子供達との交流までは難しいので、無くて問題ない</li> <li>・利用していないので分からない</li> </ul>	<p>①保育所や認定こども園、幼稚園や地域の方との交流の機会は通園としてもセンターとしても非常に少ない状況です。おおばのことも知ってもらうために、数年に1度黒須田小学校の児童スライドを使っておおばを紹介したり、地域に働きかけてボランティアに来ていただいているのが現状です。引き続き、地域との交流活動を検討してまいります</p> <p>②通園やセンターを広く知っていただくための広報活動や地域との交流の仕方について検討してまいります。またおおばに通うお子さんやご家族が安心して地域で暮らしていただけるように、保育所や幼稚園など、地域との連携の強化を図ってまいります</p>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	88 98.9%	1 1.1%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大丈夫です。</li> <li>・そう思います。</li> <li>・丁寧な説明を受けました。</li> </ul> <p>①発達支援というものを初めて受けたため、最初の頃は説明だけじゃあまりイメージがわかなかった。説明のための動画とかも、特に支援プログラムのところは断片的な写真のみだったため親子日に行くようになるまでは分かりづらかった。クラスによって行っていることがある程度入ってる子供たちによって差異があるのは理解しているが、もう少しアニメーションみたいなものでの短動画などがあると初期は分かりやすかったと感じる</p> <p>②子どものやりやすさを考えてのことなので仕方がないとは思いますが、年度途中で、給食で使う持ち物の変更(おしぼりの大きさ、カトラリーケースの種類変更)があったので、前年度までを踏まえて、年度始まる段階からそれだったらよかったですなと思いました。</p>	<p>①親子日において、プログラムの内容や支援の目的を共有し、お子さんの成長を共に見守る時間は、当園としても非常に大切に考えております。説明時に用いる資料を工夫したり、活動のポイントをより丁寧に解説したりするなど、より伝わりやすい共有方法を職員間で検討し改善に努めてまいります</p> <p>②お子さんの発達段階や様子の変化に合わせ、最適な食具や道具の変更を提案いたしました。年度途中ということもあり準備に伴うご負担を感じさせてしまい、申し訳ありません。今後も成長や様子に応じて途中で道具の変更を提案する可能性があります。急な変更でご負担をおかけしないよう、変更が予測される場合やその見通しについてご説明していきたいと思っております</p>

保護者への説明等	<p>13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。</p>	88 98.9%	なし	なし	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分です</li> <li>・そう思います</li> <li>・親が想像するより、先生は子供の事を理解しているように感じた。</li> <li>・説明も具体的に助かる</li> </ul>	今後もお子さんの様子に合わせて計画書を作成し、保護者の方に丁寧に説明できるように努めてまいります
	<p>14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。</p>	81 91.0%	4 4.5%	1 1.1%	3 3.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です</li> <li>・そう思います</li> <li>・勉強会興味深く楽しく参加しています</li> </ul> <p>①まだないと思います。勉強会はありません ①研修はあるがペアトレはない ①どれがペアトレなのかはイマイチわかっていません ①親子日では活動の時間が、ゆっくとフォローは出来ない状況</p>	現在“ペアレントトレーニング”としての講座や勉強会の実施には至っていません。あおば講座や保護者勉強会、クラス保護者会を通じて情報提供や療育の意図を伝えるなど、日常生活や関わりに活かしていただけるよう努めております。“ペアレントトレーニング”につきましては、保護者の皆さまのご意見やご意向を踏まえて講座や勉強会等、検討してまいります
	<p>15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。</p>	85 95.5%	4 4.5%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・些細なことも共有してもらえて、ありがたい</li> <li>・細やかな報告がされていて、その点がとても信頼感に繋がっています</li> <li>・担任の先生に相談したり対応してもらいました</li> <li>・そう思います</li> </ul> <p>①一応満足です。他の園と比べると内容は少ない印象です。もう少し細かい話も聞ければいいと思います ①しばしばずれていると感じる ②基本的にはよくお話をさせて頂いていると思いますが、発達検査だけでなく診察ももう少し頻度を上げてできたらと思っています</p>	センターには医師を始め、心理師、ソーシャルワーカー等の専門職がおります。今後も連携をとりながら、共通理解をもち、お子さんやご家族の支援に努めてまいります ①ご意見ありがとうございます。保護者の方のお話を十分お聞きし、思いを汲み取れるように努力してまいります。お話す際には、保護者の方と共通理解をもてるように丁寧な説明を心掛けてまいります ②ご意見ありがとうございます。ご心配なことやご不安なことについて担当の職員へご相談いただけたらと思います
	<p>16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。</p>	85 95.5%	3 3.4%	1 1.1%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の特性を見極め、適切にアドバイスしてくれる</li> <li>・丁寧に对应して頂いています</li> <li>・面談以外でも日々の登園の中で相談する機会があり、助かっています</li> <li>・そう思います</li> <li>・気付かなかった視点でのアドバイスがもらえることはとても貴重で気づきになります。また先生方が情報集められていることにも会話の中で触れることがあり、向上心も感じられてとてもありがたく感じています</li> <li>・こちらにも気になる事があったので担任の先生にお伝えしました</li> </ul>	左記のようなご意見をいただけることは職員の励みになります。引き続き、お子さんご様子の共有や保護者の方のご相談等に、タイムリーかつ柔軟に対応しているよう努めてまいります
	<p>17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。</p>	86 96.6%	3 3.4%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です</li> <li>・そう思います</li> <li>・子どもの様子をよく見て、共感的なアドバイス、支援があると感じます</li> <li>・いつも気にかけて声をかけてくださるので、些細なことでも相談しやすいです</li> <li>・親としての目線でも共感的に話を聞いてくれるので、とても話しやすいし頼もしく感じています</li> </ul> <p>①共感的な人もいるが、批判的な人も多い</p>	面談や親子日を通じて、クラスのことだけでなく、ご家庭や併用先のことも鑑みて、支援についてお伝えできるようにより一層努力してまいります ①ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。保護者の方のお話に真摯に向き合い、ご相談に乗れるように職員一同努力してまいります。(もしよろしければご不快に感じられた具体的な言動についてお話しいただけますと指導して参りますので、話しやすい職員にお伝えください)
	<p>18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	63 70.8%	15 16.9%	1 1.1%	10 11.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そう思います。</li> </ul> <p>①父母の会の活動については知りませんでした 父母の会の存在は分からない 父母の会やきょうだい同士の交流などは、参加したことはありませんが、休憩時間に保護者間で話をする時間は沢山あるので、そこで関わりを持つ機会があります。 あまり聞かない。 ②週5クラスの交流会の話を聞いていい取り組みだなと思いました きょうだいはわかりませんが、保護者交流会はありがたいです 保護者同士の交流会は作業しながらは少し難しいと感じました ③保護者会はあるが、兄弟が交流できる場合は聞いた事がない きょうだいどうしの交流もあつたら素敵だなと思います。 きょうだい向けのイベントはなし きょうだい支援はまだその機会がないように思います。(希望しているわけではなく、単純にないという感想です。) 保護者の支援はして頂いていると思います。きょうだい児についての取り組みは参加していないためわかりません。</p>	①説明が足りず、申し訳ありませんでした。父母会は新型コロナが流行し、保護者の療育参加に制限があった年から休会しております。通園としては個々人のご意見も大切ですが、通園をご利用する皆さんからのご意見や運営に関する話し合いをするために、通園としては父母会の再開を希望しております。次年度ぜひ検討していきたいと思っております ②保護者の方の休憩時間にクラス内の保護者交流は図っていただいでいると思います。もう少し規模を広げた形で2025年度は週5クラス単位の保護者交流を企画しました。ご意見ご感想を伺いながら今後も企画を考えていきます ③2024年度の年度途中からきょうだい児保育をNPO法人に委託し、運営を開始しています。ごきょうだいでとって1日1日が安心して興味が広がる時間となるようと考えております。また、2026年度は数年ぶりにおお祭りの開催を企画検討中です。お祭りの企画が交流の機会になるとよいと考えております
	<p>19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。</p>	77 86.5%	8 9.0%	なし	4 4.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに対応して頂きました</li> </ul> <p>①子供に関わるプライベートな相談に関しては、どこまで？で悩む事があります。 ②相談には乗ってもらえるが、解決にいたらない事が多い。すぐに管理側の人間がでてきて断られるイメージ</p>	①お子さんのこと、ご家族のことでお話しされる際は、お話しできる、お話ししたい範囲で構いません。支援を検討する中で、立ち上がった質問をすることもありますが、相談したい範囲でお話ししていただけたらと思います ②保護者の方のご納得いただける形にならず申し訳ありません。保護者の方のご意見やお気持ちを真摯に受け止めお話しができるように努めてまいります。その上で、保護者の方のご納得できる解決を目指してまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82 92.1%	5 5.6%	なし	2 2.2%	・大丈夫だと思います ・そう思います	引き続き、お子さんや保護者の方のご意向を尊重した情報伝達に努めてまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	71 79.8%	4 4.5%	3 3.4%	11 12.4%	・そう思います ①マチコミでのクラスだよりの配信を月末ではなく、中旬頃までに配信していただくと併用している幼稚園との予定が組みやすいのでご検討いただければと思います	①ご意見ありがとうございます。使用場所や物品等をクラス間で調整しているため、月末のお知らせになっております。保護者の方に関わる行事や予定についてはできるだけ早くお伝えできるように努めてまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	86 96.6%	なし	なし	3 3.4%	・そう思います ・配慮が行き届きすぎていて、写真を撮っていない場面なのかどうか躊躇ってしまいます。SNSにはあげることはないので、子の成長を記録するためにも動画や写真はもっとフランクに撮れる環境であってほしいと思います	ご意見ありがとうございます。個人情報の取り扱いについてはご家族ごとに様々なご意見をお持ちのことと思います。利用されるご家族、お子さんを守るための法人としての判断ですので、ご理解いただきたく存じます。成長記録として卒園時にアルバムをお渡しする予定ですので、そちらをご覧いただけたらと思います
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	74 83.1%	5 5.6%	1 1.1%	9 10.1%	・そう思います ・欠席などで訓練にまだ参加できておらず内容についてはわかりません ・壁に貼られている「緊急対応の流れ」などは目にしたことがあるが実際に直接説明を受けた記憶は無い	緊急時対応、感染対策マニュアルにつきましては通園のしおりをご確認ください マニュアルの説明や確認は折に触れて口頭で行っているのが現状です。保護者の方がセンター内で確認できるような保管方法を検討してまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	82 92.1%	2 2.2%	なし	5 5.6%	・知っています ・そう思います ・覚えていないだけかもしれませんが、避難訓練の頻度がわかりません ・防災訓練になかなか参加できていないので、どのように避難しているのかわかりたい。不審者対策などの取り組みがあるのであれば、知りたい	防災訓練は月に1度実施することが事業所に義務として課されており、どのクラス、どの頻度のお子さんも避難訓練を経験し、有事の際に少しでも迅速に避難できるように訓練日を月毎に曜日を変えて実施しております。その訓練当日が親子日の方と一緒に参加していただいております。実際の訓練にご参加いただけなかった保護者の方にもイメージをもていただけるように、保護者会などの機会に避難訓練の流れや避難の仕方をご説明するようにいたします
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	86 96.6%	なし	なし	3 3.4%	・そう思います	ご意見ありがとうございます。引き続きお子さんの安全に配慮し、支援を進められるように努めてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	78 87.6%	5 5.6%	なし	6 6.7%	・大丈夫だと思います ・そう思います ・プレイルームのトランポリンが撤去された際、特に理由は知らされなかった。園児さんの負傷がきっかけと噂で聞いて、噂が悪く拡がらないようにするためにも、説明があっても良かったのではと思う	ご説明が行き届かず、大変申し訳ありませんでした。トランポリンを現在のエアトラックに変更する際、一度実物を借用し、お子さんたちに使ってもらい、様子を見てから導入をいたしました。保護者会等でご説明する機会を設けておりましたが、皆様に確実に伝わったかの確認が不足しておりました 通園に設置していたトランポリンは、体幹のコントロールが未熟な児童が使用すると、転倒、衝突、転落のリスクが高く、周囲に職員を配置するなど配慮をしても以前から一定の割合で事故報告がありました。高さもあったため、転落すると大きな怪我になるリスクもあり、トランポリンに代わるお子さんにとって楽しい遊具を探しました。今回のエアトラックを見つけ、トランポリンに比べ跳躍感は減りますが、安全に楽しく使用できると判断し、交換させていただきました
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	85 95.5%	4 4.5%	なし	なし	・いつも行くのを楽しみにしてる ・楽しく通っています ・そう思います ・あおばの先生たちのこともあおばも大好きです ・いつも通園の日を楽しみにしています ・安心して過ごせる場所という認識があることが子供から伝わってきます ・嫌がらずに毎日バス停まで歩いてくれます	ご意見ありがとうございます。これからもお子さんが安心して通えるように職員一同努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	75 84.3%	11 12.4%	なし	3 3.4%	・特に親子日を楽しみにして居るようです ・そう思います ・とても楽しみにして行くことがわかると「バス、バス、あおば」と言って喜びます ・あおばが好きで、ニコニコしながら通ってます	ご意見ありがとうございます。これからもお子さんが通園を楽しみに通い、有意義な時間となるように努めてまいります

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	83	5	1	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人にとってわかりやすい環境、伝わりやすい関わり方である事が安心に繋がりを、本人の『行きたい』になるという事がこの一年でよくわかりました</li> <li>・ 大変お世話になっております。いつもありがとうございます！引き続き、今度とも、何卒よろしく申し上げます</li> <li>・ ささいな事でも、困っていることを親身に聞いてもらえて、アドバイスがあるのでわかりやすいです</li> <li>・ 細やかさととても満足しています</li> <li>・ いつも親身に担任の先生には相談に乗って頂いたり、療育もしっかりして頂いていて親ももしっかり支援して頂いています</li> </ul>	<p>①不安なお気持ちにさせてしまい、申し訳ありませんでした。クラス担任だけでは安全に把握が難しいと判断した場面は非常勤職員やボランティアの方を動員しています。また、共有場所などはクラスを超えて、その場にいる職員全員でお子さんが安全に過ごせるように努めています。今後もより意識して安全な把握と、お子さんへの支援の充実に努めてまいります</p> <p>②ご意見ありがとうございます。担任でないと個々の配慮や設定がわからないことがあります。しかしながら、できる限り担任がお子さんの支援にあたるように、人の配置や事前準備など、できる工夫を検討してまいります</p> <p>③就学後も何かご心配なこと、ご相談したいことがあれば旧担任や担当のソーシャルワーカーにご連絡ください。また、通園は卒園しても、ご家族のご希望があれば小学校6年生まであおばをご利用いただけます。具体的にご不安なことがあれば、どうぞ担任や主任、園長にご相談ください</p>
			93.3%	5.6%	1.1%			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	地域療育センターあおば 通園	公表日	2026年3月 31日
------	----------------	-----	-------------

	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点	
		人数	割合	人数	割合			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	86.4%	3	13.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々のスペースと活動のスペースを分けることができている</li> <li>・ 合同で使用する場合は、安全に使用できる人数か体制が検討しながら行っている</li> </ul>	普段の使用調整と共に、悪天候時など、室内で過ごさねばならない時の過ごし方について検討が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	86.4%	3	13.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に、またより個々に合わせた療育をするため優先度を見極めながらフリー職員の協力も得られている</li> <li>・ ボランティアを含め、手厚く見ていると思う</li> <li>・ 職員の人数が少なく、丁寧に見きれない時があるためピンポイントで人を入れるなどの工夫をしていると思う</li> <li>・ 状況によって人手が必要な時間帯はあるが、環境工夫や組み立ての工夫を行っている</li> <li>・ 非常勤職員やボランティアの活用をし人手が必要な場面、場所には配置するよう工夫している</li> </ul>	現在も担任と相談のもとクラスや子どもの状況に応じてフリー職員や非常勤職員を配置しているが、人員配置だけでなく、活動やスケジュールの組み方や内容の見直し、把握の仕方等も検討が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	95.5%	1	4.5%	視覚提示が多い	収納スペースに限りがあるため、安全面に配慮しながら、物品管理をする工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	100%	なし		毎日掃除をしている。明るさなども活動に適している	定期的な点検をし、修繕や遊具の入れ替えなど、計画をたてて実施していく必要がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	100%	なし		気持ちを落ち着かせるときなど、共有場所が使える	どの職員も子どもに合わせた療育を提供できるようにしていくことが課題

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20 90.9%	2 9.1%		PDCAサイクルを意識した業務遂行に努めているが、支援の充実、業務の効率化等のために継続して支援内容の検討、更新をしていく必要がある。また、職員の休憩時間の確保についても課題が残っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22 100%	なし	保護者が来園した日に感想やご意見を書いてもらっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20 90.9%	2 9.1%	朝会や終礼など、皆で顔を合わせる機会があり、そこで情報共有をしている	情報交換会やグループ会議等、話やすい場を設定し業務改善に繋がる取り組みを行っている。しかし、集団でなく個人に焦点をあてた意見の聞き取り方法や時期の検討が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	21 100%	なし		第三者評価は5年に一度実施しており、結果は市のホームページに掲載されている。結果を踏まえ、所内で検討し、改善に努めている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21 95.5%	1 4.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内外での研修への参加の機会がある</li> <li>・外部研修の機会が増え、支援の質の向上につながる機会となっている</li> <li>・研修の機会を設けて頂き、研修を受けたことで学んだこと、業務に生かしたいことなど得たことが多かった</li> </ul>	企画されたものばかりでなく、職員が主体的に学びを進められるような仕組み、風土が必要

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22 100%	なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しているが、見直しの時期を明確にし、定期的な更新が必要</li> <li>支援プログラムに基づき児童発達支援管理責任者と直接支援担当者が相談しながら日々の活動を決めているが、ねらいや個別の課題設定に引き続き学びが必要</li> </ul>
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>上席者だけでなく、心理師や作業療法士などの意見も聞き作成している</li> <li>担任のほかに児童発達支援管理責任者や園長も子どもの様子を把握し、作成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者の方のニーズ、状態のアセスメント力について引き続き学びが必要</li> <li>伝えたいことを簡潔にまとめる文章構成力についても学びが必要</li> </ul>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22 100%	なし	情報共有をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての職員が子どもへの支援、保護者支援がより適切にできるように研修の充実が課題</li> <li>限りある時間の中で支援について話し合い方や場の設定に工夫が必要</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21 100%	なし	共有し、日々どのように支援していくか話し合っている	児童発達支援管理責任者や園長との共有に迅速さに欠けることがある
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22 100%	なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントのための標準化したツールについて検討が必要</li> <li>子どもの支援について、PDCAサイクルで考える習慣をつくることに課題がある</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画書に項目ごと、目標など設定され、職員間でも、保護者とも共有している</li> <li>子どもの状態、併用先からの相談ごとに応じて取り組んでいる</li> </ul>	児童発達支援ガイドラインを理解し、それぞれの職員が現状の課題と展望について問題提起できるように学びが必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21 95.5%	1 4.5%	1人ではなく話し合いながら計画している	経験値や役割分担に応じて、プログラムの立案を行っている。しかし、役割に縛られずにプログラム立案に関与できるよう取り組みの工夫が必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>他クラスの話や聞いたりして、固定化されないようにしている</li> <li>職員間の情報共有の場があることで、他クラスのプログラムを自分たちのクラスに生かして、提供するプログラムのバリエーションは広がってきていると思う</li> <li>担任2名それぞれで活動を考え、様々な活動を子どもたちが経験できるようにしている</li> </ul>	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22 100%	なし	その時々に合わせて計画されている	

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や前日の夕方に動きを確認している。</li> <li>・振り返りを次の療育に活かせるよう、打ち合わせを行い療育を実施している</li> <li>・担任間だけでなく、非常勤職員とも事前に行うことは定着している</li> <li>・子どもが登園する前にその日の流れや確認事項を共有している</li> </ul>	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日どう動くかなども併せて日々の振り返りをしている</li> <li>・担任間はもちろん、その日にクラスに携わった職員とも振り返りや、意見交換を行い工夫・改善することがある</li> <li>・打合せに限らず、記録を残すなど共有に工夫をしている</li> <li>・子どもの対応で迷った点、活動等の改善した方が良い点を職員間で共有している</li> </ul>	業務の効率化、改善に向けた継続的な検討が必要
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22 100%	なし	毎日個人ごとに記録を残している	課題や目的に沿った記録の書き方について学びが必要
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21 95.5%	1 4.5%	必要な時期に見直しを行っている	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関わる者が参加している</li> <li>・可能なかぎり複数人で参加することで、正確に情報を捉えたり、その場で検討できる幅が広げられるようにしている</li> </ul>	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて関係機関と連携を図り、それぞれの担う役割を確認しながら支援にあたるように努めている</li> </ul>	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問をするなどして、連携を強めている</li> <li>・情報共有を相手施設から希望してもらえるように、保護者経由もしくは保護者の了解の下ご連絡させてもらうこともある</li> </ul>	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22 100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎなどを行っている</li> <li>・保護者の同意のもと、引継ぎを実施している</li> <li>・環境が違う中で、どこまでの情報を提供していくのがよいか、考えられるように移行先のことを知っていく努力は引き続き必要だと思う</li> </ul>	移行時期の引継ぎだけでなく、必要に応じて電話や訪問などができる体制はとっているが、学齢期への支援の充実に課題がある

関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)					
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	21 95.5%	1 4.5%	必要に応じて他センターとの情報共有に努めている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	22 100%	なし	全体研修だけでなく、個人向け研修が増え、研修が充実しつつある	外部機関等に研修にいけるように企画しているが十分ではない
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	21 95.5%	1 4.5%	センター内で参加者が決まっており、必要な情報の共有を図っている	自身が携わっていない業務や会議の周知に課題がある
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16 76.2%	5 23.8%	地域の活動などに参加する上で相談にのることがある	保育所等訪問支援事業など、職員間の連携の場はあるが、地域の子どもの交流について検討が必要
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22 100%	なし	・支援計画に基づいて課題や目的を説明している ・保護者の方々と共通の理解を持って療育を進められるように努めている	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22 100%	なし	・施設主催で勉強会が行われている ・親子日に説明や振り返りなどの時間が取れるよう工夫している。保護者勉強会やクラス単位での勉強会も実施している	保護者勉強会や交流の機会は設けているが、参加者の幅を広げるために実施内容、実施日を検討、改善が必要
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22 100%	なし	年度初めに説明をしているが内容が多いため、再確認が必要な時は保護者会や親子日などの機会を用いてお伝えするようにしている	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20 100%	なし	・個人面談などで意思確認をしている ・面談等を通じて、私たちが考える子どもの利益と保護者の期待することとのすり合わせをしている	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21 100%	なし	個人面談時に合わせて、「支援計画」の説明の機会を設けている	
37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22 100%	なし	・週に1回親子で通園するときに話をしている ・定期面談に限らず、親子日や連絡帳を用いて情報共有やご相談にのれるようにしている ・相談内容によっては、ソーシャルワーカーや心理師など、関係職種と役割分担しながら支援している		

保護者への説明等	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20 90.9%	2 9.1%	父母の会の活動はないが、クラス保護者会や日々の休憩時間に保護者同士の交流が行われている	保護者のニーズに合わせた交流の方法について引き続き、検討が必要
	39	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21 100%	なし		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21 95.5%	1 4.5%	マチコミを活用して配信している	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22 100%	なし	使用する目的に応じて、子どもの名前ではなく、個々に決めているマークを使用して掲示するなどの工夫をしている	各職員が適切に個人情報に留意して行動できるように確認、改善が必要
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22 100%	なし	・誰にでも分かりやすいように努力している ・視覚化する、予定をあらかじめ伝える等、「わかりやすさ」を心掛けている	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19 86.4%	3 13.6%		2025年度は実施できていないが、実施に向けて検討が進んでいる
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22 100%	なし	月1回避難訓練をしている	周知の方法、周知回数、マニュアルの保管方法や保管場所の検討が必要
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21 95.5%	1 4.5%		避難、救出といった訓練の種類を増やし、実践に近い形で行えるよう工夫が必要
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	22 100%	なし	・入園時に把握している ・規定の書類を用いて、保護者の方の了承を得て医療担当者から医療情報、医療的ケア、服薬指示などを確認している	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22 100%	なし		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22 100%	なし	研修や、防犯、防災訓練などが職員向けに行われている。利用者には月1回の避難訓練を実施している	
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21 95.5%	1 4.5%		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22 100%	なし	・報告書をあげ、改善点を課内、事業所内で共有している ・それぞれの職員が気づいたことを朝会などで都度報告する風土が育っている	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22 100%	なし	・毎年、研修を実施している	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22 100%	なし			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域療育センターあおば 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日		2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	107	(回答者数) 89
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		2025年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書について定期的に保護者に説明しながら、支援計画に沿って支援を実行している。保護者にも一定の評価をいただいている	児童発達支援管理責任者が日頃からクラスに関わり、直接支援担当者や情報を共有できるように努めている。定期的、または必要に応じてミーティングを持ち支援計画を立て、適切な支援を実行できるように努めている	児童のアセスメント力や支援計画書の文章構成力、説明のためのコミュニケーション力の向上のため、OJTや年間で研修を企画して底上げを図っていく
2	児童発達支援管理責任者だけでなく、多職種が直接的、間接的に関わる仕組みがある。それぞれの職種の専門性を活かせるように、検討が必要な事柄が生じた際は適宜カンファレンスが開催されている	公認心理師が定期的に各クラスに入り、児童への支援やクラス運営に対し、心理師としての専門的な視点も反映できるように工夫している。相談員や他の専門職種とも情報共有に努め、必要時に速やかに適切な支援に繋がるように意識している	必要な情報をご家族に関わる職員で共有し、できる限り迅速に相談に対応できるようにそれぞれが主体的に発信できるようにする。施設内に限らず、外部機関の役割を知り、関係機関会議の開催や地域資源を有効に利用できるように連携を図っていく
3	児童の興味関心を探り、成功体験や遊びの広がりとなるように支援している。また、日常生活動作への支援など、個々の目標を段階をふみながら行っている。その取組について、保護者にも一定の評価をいただいている	クラスの取り組みを他クラスとも共有したり、児童の発達や変化に応じてプログラムを検討し、集団的/個別的に考え実行している。	研修や日々の意見交換を積極的に行い、よりよい療育の提供に努める。また、取組の目的を保護者に丁寧に説明することを心がけ、療育の場だけでなく、生活に汎化できるようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	主に複数クラスが使用する共有場所での安全面について不安の声が保護者から多くあがっている	・共有場所の環境設定や把握の仕方に課題がある ・職員の対応方法や、児童の様子の伝達など、コミュニケーションに課題がある	・人員配置の見直し ・職員の対応力、コミュニケーション力の向上 ・使用ルールの定期的な見直しと周知の徹底 ・使用遊具の定期的な安全点検と環境設定の見直し
2	各種マニュアルの説明の機会が定期的に行われていないことで、マニュアルの存在やマニュアルに沿った実際の動きがわからないとの声が多い	・マニュアルの説明の機会が足りず、浸透しにくさがある ・マニュアルをしおり等に載せているが、施設内で閲覧できるようにしていない ・欠席や親子日に避難訓練があたっていないことで、保護者の訓練参加の機会が少ない	・実用的なマニュアルとなるように見直しが必要 ・周知回数、周知方法の見直し ・施設内での閲覧ファイルの設置
3	きょうだい児の交流や地域との交流について企画できているものが少ない	新型コロナウイルスの流行と保護者の意向もあり、父母会が休会状態のため、療育以外の要望を吸い上げる機会が少ない	・父母会の再開を保護者と協議する ・交流を目的とした企画の検討
4	定期的な面談や日々の親子日など、保護者の相談に迅速に対応するよう努めているが、時間が足りない、十分な相談にのってもらえていないとの声がある	・親子日に1人1人の保護者と話す時間の捻出が困難 ・保護者の思いの聞き取りが不十分だったり、汲み取りが不十分である ・限りある時間の有効な使い方に課題がある	・保護者の思いの聞き取り方に工夫が必要 ・職員からの伝達事項の効率化をし、時間の有効活用を図る ・職員のコミュニケーション力の向上